



第42期 中間報告書

2026年1月1日 > 2026年6月30日



「深化・確立」の集大成として、
変化を先取りする変革に挑み、
持続可能な社会インフラの未来を
切り拓いてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

まず、このたびの熊本地震により、犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

当社第42期上半期のご報告を申し上げます。

当上半期の社会経済は、資源価格の変動や建築関連資材の調達難といった構造的な課題を抱えながら、頻発する自然災害への備えや老朽化するインフラの健全化など、安心・安全な社会基盤の構築に向けた要請は、より切実なものとなっております。

このような時代において、当社の提供する専門的な調査・技術サービスは、未来への安心を担保する不可欠な社会的役割を担っていると自負しております。

現在、中期経営計画「深化・確立 ～変える・変わるDK～」の最終年度を推進しております。これまでの2年間で積み上げた基盤を礎に、今期は既存事業の質的向上と、成長領域への戦略的投資をさらに加速させてまいりました。特に、高度化するメンテナンス需要への対応や、社会資本の長寿命化に資する高付加価値な診断技術の提供、全国4拠点の試験センターを核とした広域的な連携を推進し、組織全体の知見とリソースの最適化を図っております。

下期におきましても、当社の技術が求められる機会は極めて旺盛です。私たちは現状に安住することなく、変化を恐れず進化し続ける「強いDK」を確立してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 下平 雄二



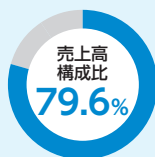
セグメント別概況 (2026年12月期中間累計)



試験総合 サービス事業

売上高

3,052 百万円



主な事業内容

土質・地質調査試験
非破壊調査試験
環境調査試験



工事総合 サービス事業

売上高

426 百万円



主な事業内容

地盤調査
地盤補強・改良工事
構造物補強工事
土壌汚染浄化工事 等



ソフトウェア 開発販売事業

売上高

352 百万円



関連するソフトウェア

『MEMOREAD（点群差分解析）』
株式会社土木管理総合試験所 ISP開発部
『FlowDesiner（熱流体解析）』
株式会社アドバンスドナレッジ研究所



ALL OK

【ALL OKとは】

DKが大切にするのは「お客様のご依頼に全力で応える」姿勢です。その精神を具体化した行動指針「ALL OK」を時代の変化に合わせてアップデートし、DKイズムを進化させています。単に引き受ける（Accept）だけでなく、傾聴（Listen）・導き（Lead）・提案（Offer）・改善（Keep Improving）。この実践こそがチーム力を高め、お客様との確固たる信頼関係を築く源泉です。

この「ALL OK」は単なるスローガンではありません。

現場の一人ひとりがこれを体現することで強固な営業力と高収益体質が構築され、新たな事業領域の開拓やFC・M&Aによるパートナーの拡大へと結実しています。まさに組織の成長を支えるこのDKイズムが、実際の【営業戦略】と【パートナー戦略】においてどのように機能し、事業を進化させているのか。今回はその最前線を牽引する2名の取締役役に詳しく話を聞きます。

いかにして 高い収益性を実現したのか 現場で息づく「ALL OK」の力

取締役
営業本部長

八木澤 一哉



近年の業績向上を支えているのは、需要が高まるインフラメンテナンスや再生可能エネルギー分野への「市場のシフト」です。富山や静岡、東北、北海道といった未開拓地域への積極的な進出を進めるとともに、お客様も従来のゼネコン主体から民間企業や建設コンサルタントへと幅を広げてまいりました。単に工事を引き受けるだけでなく、調査や設計といった上流段階から一緒に考えることで、高い付加価値と収益性の向上につなげています。このような現場の変化を支えているのが、私たちの行動指針である「ALL OK」です。全国でパートナー企業を開拓し、組織の枠

を超えた柔軟な体制をつくったことで、どの地域のお客様からのご相談にもしっかりお応えできるパワーが備わりました。また、従来の地盤改良に加え、構造物の補修や土壌浄化などの工事に対応できるグループを確立したことで、調査で見つかった課題に対して最適でトータルな工事をご提案できるようになっています。現場に合わせて自ら改善し続けるこの姿勢こそが「ALL OK」の実践です。今後も相次ぐ自然災害への対応や復興支援に全力を尽くしてまいります。さらに、データセンター建設が相次ぐ「DX」や蓄電池などの「GX」といった注目の成長市場を最重要分野と位置づけ、各地の建設コンサルタントの皆様と手を携えながら民間企業へのアプローチを強化し、社会に貢献しながら高収益を維持・拡大してまいります。

組織の枠を超えて全国へ広げる 「ALL OK」の価値

取締役
ストラテジックIP事業部門長

中島 壮弘



当社は創業以来40年以上にわたり、日本の社会インフラを支える調査・試験・検査事業を手がけてまいりました。お客様の期待に「ALL OK」の姿勢でお応えし続けてきた実績と信頼をベースに、現在では1,000種類を超える試験・調査メニューと全国をカバーする対応力を備えています。グループ会社やパートナー企業の皆様に、長年培ってきた技術力や品質基準、人材育成のノウハウをお伝えし、一社では実現できない大きな成長の機会を共に作っていただけるこそが、私たちの最大の価値だと考えています。この「ALL OK」という姿勢は、企業の規模や地域の違いを超えて分かち合える大切な価値観です。「できない理由」を探すのではなく、「どうすればできるか」を共に考える共通言語になっています。これまでFC事業で大切にしてきた「共存共栄」の精神

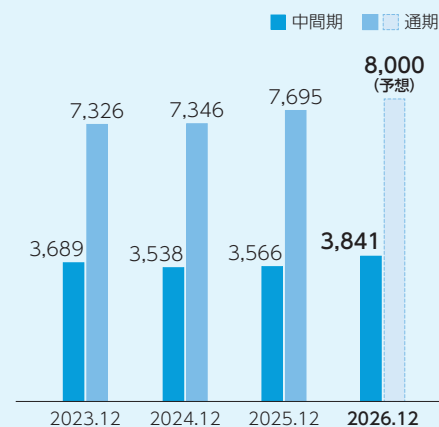
のもと、お互いの強みや個性を尊重しながら、共に成長していきたいと考えています。私たちが目指しているのは、日本全国どこでも高品質なサービスを提供できるインフラ技術企業グループです。M&AやFC展開を通じて各地の地域企業の力と私たちの技術・品質基準を結びつけ、対応できるエリアや技術の幅を広げてまいります。そして、技術力・提案力・スピードという当社の確かな品質を適正価格で全国にお届けし、これからも日本のインフラを支え守り続けてまいります。



連結財務ハイライト

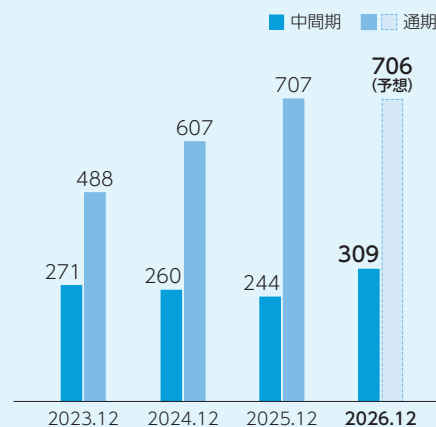
売上高

(単位:百万円)



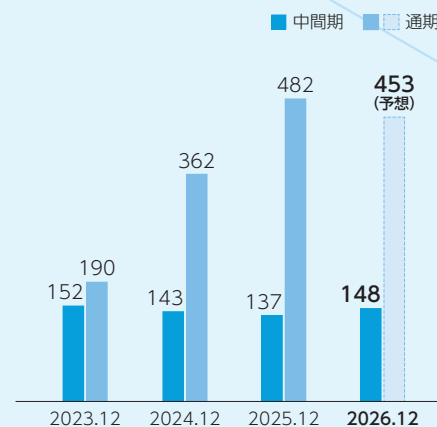
経常利益

(単位:百万円)



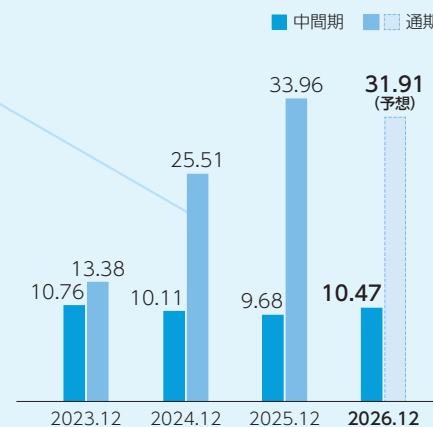
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位:百万円)



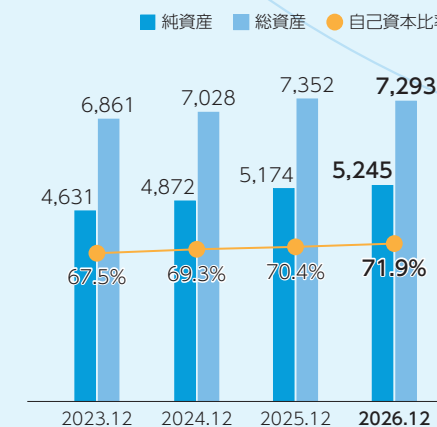
1株当たり中間(当期)純利益

(単位:円)



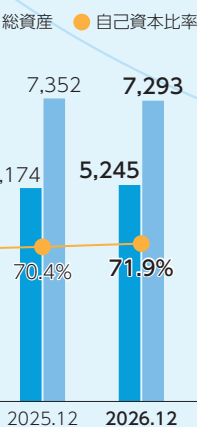
総資産／純資産

(単位:百万円)



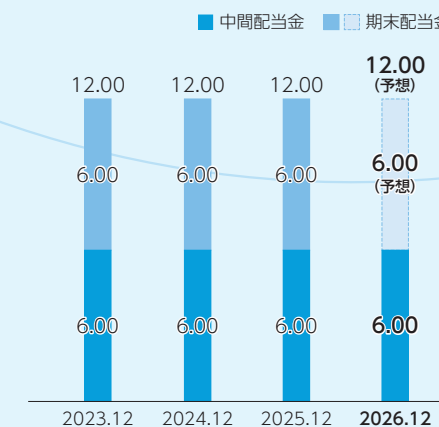
自己資本比率

(単位:%)



1株当たり配当金

(単位:円)





トピックス

■ ジオロボティクス研究所 フォレストが 自然共生サイトへ認定

北海道苫小牧市にある当社の事業所「ジオロボティクス研究所」が管理する保全森林区域「フォレスト」。地域の多様な生態系を育むこの場所は、昨年末の認定式を経て正式な認定サイトとなり、今年の上半期には現地へ記念看板を設置いたしました。国際的な生物多様性の保全目標（30by30）の達成に貢献する拠点として、今後も地域と連携しながら豊かな自然環境を守り続けてまいります。



■ 会社事業紹介(パンフレット)が 大幅リニューアル

当社は事業のさらなる発展や収益基盤の強化に向けた施策の一環として、今年1月に会社事業紹介（パンフレット）を全面刷新いたしました。今回は古くなっていった掲載情報を最新の内容へ更新するとともに、多角化した事業構造に合わせて構成を見直して



います。主要な試験調査項目や対応可能な技術サービスを幅広く掲載しており、従来のものに比べ当社の事業内容をより詳しくご紹介する資料となっています。

■ フランチャイズ(FC)加盟店募集ページを リニューアル公開

今後のフランチャイズ（FC）事業拡大を進める一環として、加盟店募集ページをリニューアル公開いたしました。旧サイトよりFCシステムの情報を拡充したことに加え、今後の事業方針や目指すビジョンについても詳しくお伝えしているほか、新たに各店舗やメンバーの紹介、説明会の情報などを掲載しています。



■ 「路面性状と路面下情報の同時計測車両 (Road Scan Vehicle 3)」がNETIS登録

藤村クレスト株式会社と共同開発した「路面性状と路面下情報の同時計測車両（Road Scan Vehicle 3）」が、国土交通省のNETISに登録されました（NETIS番号：QS-250014-A）。本技術は、路面のひび割れと地下の空洞などを一度の走行で同時に計測するものです。別車両でそれぞれ測定・探査を行っていた従来手法に比べ、現地調査にかかる作業の効率化や時間短縮を図ると



もに、交通規制の回数を削減し周辺道路への影響軽減にも貢献いたします。

■ オリジナルグッズ販売+陸上教室&交流会イベント開催



当社所属アスリート社員 君嶋愛梨沙が監修するオリジナルグッズの販売サイト「DASh store」をオープンいたしました。

これを記念し、同サイトでのグッズ購入者を対象とした陸上教室および交流会イベントを11月に山口県と神奈川県で開催いたします。イベントでは、現役選手によるトレーニング指導やデモンストレーションの後、質疑応答や写真撮影会も予定しています。



グッズ販売サイト





所属アスリート社員トピックス



君嶋 愛梨沙 選手

試行錯誤のシーズン前半、粘りの走りで日本選手権3位入賞！ メディア出演に加え、オリジナルグッズ販売など新たな試みも始動

2026年 主な大会成績

- 第60回織田幹雄記念国際陸上競技大会
女子100m 優勝
- 第13回木南道孝記念陸上競技大会
女子100m 2位
- 第110回日本陸上競技選手権大会
女子100m 3位

その他の活動報告

- TBSアトラクションバラエティ番組
「MUSOU」出演 (2026.3.23)
- 君嶋愛梨沙オリジナルグッズ販売開始 (2026.4.24)
- オリジナルグッズ販売記念、
陸上教室&交流会イベント開催決定 (2026.11 予定)

株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。https://www.pronexus.co.jp/
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp



IRメール配信サービスのご案内

最新の各種IR情報をメール
でご案内しています。

「株主・投資家ページ」の
「IRメール配信登録」から
ご登録ください。

株主還元施策

配当にかかる基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要課題の一つとして認識し、株主への剰余金の配当を「安定かつ継続的に実施」していく考えです。また、業績や内部資金の確保などを総合的に判断し、「配当性向30%以上を維持」を基本方針としております。

中間配当金のお知らせ

当中間期の業績を勘案し、期初公表通り中間配当金を1株当たり6.0円といたしました。

2026年12月期

年間配当金 **12.0**円予想

会社概要 (2026年6月30日現在)

商号	株式会社土木管理総合試験所
英文商号	C.E. Management Integrated Laboratory Co.Ltd.
事業内容	試験総合サービス事業 土質・地質調査試験 非破壊調査試験 環境調査試験 工事総合サービス事業 地盤調査、地盤補強・改良工事、構造物補強工事、 土壌汚染浄化工事 等 ソフトウェア開発販売事業
設立	1985年10月
資本金	12億587万6,860円
従業員数	連結553名 単体468名
本社	〒387-0001 長野県千曲市雨宮2347-3 〒110-0005 東京都台東区上野5-15-14-5F
試験センター・ラボ	4試験センター 1ラボ
支店・出張所・FC	12支店 5出張所 1営業事務所 10FC

株式等の状況 (2026年6月30日現在)

発行可能株式総数	18,720,000株
発行済株式数	14,237,995株
株主数	9,999名

所有者別株式数 (ご参考)



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
決算期日	12月31日
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会の議決権 12月31日 中間配当金 6月30日 期末配当金 12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6171
公告方法	電子公告
公告掲載アドレス	https://www.dksiken.co.jp/

株式に関する住所変更やその他の手続きについて

株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求、その他の手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株式会社土木管理総合試験所



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。